

平成 21 年度第 4 回尼崎市食育推進会議  
議事録【要 旨】

開催日時	平成 21 年 12 月 8 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
開催場所	尼崎市役所 議会棟 第 3 委員会室
出席状況	尼崎市食育推進会議委員 13 名（欠席委員 2 名）
傍聴者	2 名
会議次第	1 開会 2 尼崎市食育推進計画の策定について 議題 尼崎市食育推進計画案について 3 尼崎市食育推進計画策定にかかる今後のスケジュールについて 4 閉会
事務局	健康福祉局参与 拡大事務局：保育課、学校教育室（学校保健担当） 事務局：健康福祉局健康増進課

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
会長	議事 1 会長より開会挨拶
事務局	本日の出席状況について、報告する。現在の出席委員は 13 名。尼崎市食育推進会議設置要綱第 7 条に定める定数となっているので、会議は成立する。
事務局	議事 2 尼崎市食育推進計画の策定について 議題 尼崎市食育推進計画案について 事務局より資料説明 総論 、 、
委員	14 ページ、朝食の内容について。主食のみのところに、どんぶり、カレー類とあるが、バランスガイドでは、カレーは主食+主菜+副菜となっている。アンケート結果を見ると、朝からカレーを食べる人はほとんどいないようだが、ちょっと気になる。
事務局	統計上、このような分け方をせざるを得ないので、下に細かく注意書きを

	<p>付けた。カレー類とジュース等は、主食+（主菜+副菜）以外に分類している。これ以上細かい表現は難しいので、注意書きも併せて見ていただきたい。</p>
会長	<p>引き続き、尼崎市食育推進計画案 ・ について説明いただく。</p>
事務局	<p>各論 ・ について説明。</p>
委員	<p>歯の質を強くする物質としてキシリトールという名前が挙げられているが、シュガーコントロールという表現のほうがよいのではないか。</p>
事務局	<p>キシリトールというのは商品名ではないので問題はないと思う。</p>
委員	<p>歯の質を強くする物質はキシリトール以外にポスカムなどもある。</p>
事務局	<p>ポスカよりもキシリトールのほうが一般的だと思うが、一度調査、検討する。</p>
委員	<p>高大連携の説明については見直しをすることによってよいか。</p>
事務局	<p>見直しする。</p>
委員	<p>31 ページ、2 . 学校・幼稚園・保育所における食育の推進について、米飯給食を増やすとのことだが、牛乳とご飯の組み合わせは食育的に考えて疑問がある。カルシウムの摂取が目的であれば、魚の干物などを食べるほうが和食という食文化の観点からもよいと思われる。</p>
事務局	<p>ご飯と牛乳が合わないということや、牛乳に代わる食材があるのかという点も含めて教育委員会で検討していきたい。</p>
委員	<p>食育推進は、食の文化の継承も大きな目的であるため、日本のあるべき食事の姿を目指して検討いただきたい。</p>
会長	<p>学校給食は栄養士が献立を立てると思うが、そちらへの指導もするのか。</p>
事務局	<p>現在、小学校、特別支援学校の献立については、栄養教諭、栄養職員が中心になって素案を作成し、給食を関係する協議会の場で決めている。</p>
委員	<p>食文化的に見ておかしいということになれば、牛乳は廃止になるのか。</p>
事務局	<p>栄養バランスや給食費の関係、また、取り扱っている産業界の問題もあるため簡単に廃止できない。難しい課題がたくさんある。</p>
委員	<p>栄養調査をすると、カルシウムだけがどの年代も足りないが、最近は小学校の学校給食のおかげか、多少改善されているようである。食文化的にはどうかかわからないが、乳製品は吸収率もよく、栄養素的にはよいと思う。</p>
委員	<p>すべて廃止と言っているわけではない。食習慣からいって米と牛乳と一緒に摂取するのに違和感を覚えるのである。例えば、ご飯のときだけカルシウムの摂取できる和食の食品に代替できないのか。給食費の問題もあるだろうが、牛乳代は給食費の4分の1にあたり、その費用で十分、副食の費用を捻出できると思われる。</p>
事務局	<p>現在、尼崎市の給食費については1食あたり206円、牛乳は1本約46円なので、牛乳の代わりに他の副食にすることはできる。栄養価やバランス、いただいた意見も考え合わせながら検討していくが、難しい課題があるのも事</p>

会長	<p>実である。 検討願う。</p>
会長	<p>35 ページ、4 生産者と消費者との交流の促進、環境に配慮した食育の推進(1) 農業体験機会の充実について、「家庭菜園の相談に応じます」と書かれているが、具体的にどのような取組みがなされているのか。</p>
事務局	<p>家庭菜園については、現場での指導まではできないが、みどりの相談所の紹介や電話相談には応じている。資料には載っていないが、来年度は市民農園を活用した農業を広めよう、体験しやすくしようという計画もあるようなので、そういうことも含めて書いている。農家が直接的な指導するようなスタイルの市民農園を考えている。</p>
委員	<p>いま家庭菜園はかなり普及している。ホームセンターでも家庭菜園のコーナーがあり、ある程度専門的なことも聞けるだろう。わざわざ役所の農政課に聞く人は少ないと思う。</p> <p>市民農園の運営サポートが挙げられているが、市民農園というのは非常に難しい。農地という税制の面から、市民農園を簡単に開放することができない。遊休地を市民農園に貸してしまうと、税金が上がるということがあり、税制がハードルとなっている。聞くところによると、次年度ぐらいからは農業者と一緒にするならば、営農していると認められそうだ。そういった方向で、農業従事者、あるいは所有者が市民の方々と一緒に菜園をしていくなれば、市民農園は広がっていくのではないかと思っている。一般の方が気軽に野菜をつくる、あるいは米をつくるというには意外にハードルが高いのが実態である。</p>
事務局	<p>まだ正式な提案までにはいたっていないが、農政課が前向きに考え、取り組もうとしていると聞いている。</p>
委員	<p>「ボランティア等とともに協働して農業体験活動を支援します」というところが一つネックになると思われる。ボランティア イコール 農業経験者ということになるかと思う。</p>
委員	<p>31 ページ(2) に「教科や総合的な学習、委員会活動等」とあるが、38 ページには、「各教科や総合的な学習の時間に食に関する指導をする」とあって委員会活動等が抜けている。</p> <p>同じく31 ページ(2) に「正しく食品を選択する力を身につける等」とあるが、40 ページの6 - 2、ライフステージに応じた食育の展開には、「食習慣の基礎が完成する時期」とあり、「正しく食品を選択する力を身に付ける」という表現がない。そのあたりの整合性を図ってほしい。</p> <p>32 ページ、中学・高校・大学等における食育の推進のところでは、「中学校においては、教科や様々な教育活動の中で、食に関する取組みの推進を図ります」「高校の時期は、部活動その他の要因から、食生活の課題も増える傾向にある」と書かれているが、41 ページ(3) 中学・高校期では、「部活動や塾通いなどにより、食事時間が不規則になったり、夜遅くまで起きていたり」といった課題が見えてきたという表現になっている。そのへんの一貫性はど</p>

	<p>うなるのか。</p> <p>先ほどの牛乳に対する議論について、小学校で子どもたちを見ているが、ごはんと牛乳の組み合わせを気にしている様子はない。牛乳を単に食前、食後の水分として摂取している感じである。また、学校ではお茶を出すことができないため、水分補給の面という面でも牛乳は重要である。</p>
委員	<p>食育という定義において食文化を考えたときに、ご飯と牛乳という組み合わせが正しいのかが疑問なのであって、現場の状況に即している、即していないは別として考えていただきたい。不釣り合いな食物をテーブルに並べて食べるということが食育という観点から見てよいのかということである。</p>
会長	<p>牛乳の件は検討課題である。その前の質問、意見に関して事務局の回答をいただきたい。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、38 ページは、委員会活動の記載が漏れている。整合性を図るよう、所管課にも確認し検討する。</p>
委員	<p>小学校期、中学・高校期の取組みのポイントとあるが、これは学校で取組みがなされるということか。子どもたちへの消費者教育、生活者教育が日本では絶対的に欠損していると感じている。努力目標は書かれているが、それをどこで担うのか。</p>
事務局	<p>全般を通して担うのは市民全員、事業者、団体になるが、計画を総合的、具体的に取り組むのは行政である。ただ、行政だけでなく、食育は食にかかわるすべて人が行うことが基本である。この計画は、基本的な方向性や考え方を示すものである。</p>
委員	<p>努力目標の方向性を明示しているということか。</p>
事務局	<p>そうだ。より現実的に取組めるようにということで記載している。</p>
会長	<p>計画の推進について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>43 ページ、2 . 計画の進行管理と評価、( 2 ) 評価について、25 ページの目標値に達していなければ、もっと頑張らなければならないとみるのか。</p>
事務局	<p>これは5年後の目標値である。目標値は基本的に国や県の目標に準じて定めている。この目標に向かって の取組みをして、評価指数にできるだけ近付けたい。2 ( 1 ) 進行管理には、「「尼崎市食育推進会議」や「尼崎市食育検討会議」において、取組みの進行状況について確認、管理を行い、効果的な食育の推進を検討します」と記載している。進捗状況の確認や進行管理の具体的な方法についてはまだ決まっていないが、次年度からはこの会議体とその役割をお願いしたいと思っている。それをどうするかたちで評価するかについては、これから考えなければならないが、例えば、取組みや事業がどの程度できているかという資料の収集や、毎年出るデータを確認して、計画が順調に進んでいるのか、あるいは、欠落している分野がないかというようなことは確認が可能かと思っている。それが来年からの大きな課題だと思っている。</p>
委員	<p>目標値が高すぎた場合、下方修正はありうるのか。「食育に関心のある人の</p>

	割合」の目標値が90%というのは高すぎるように思う。
事務局	これについては90%を目指す。
委員	最終的にはこの数値に達するように頑張るとのことか。
事務局	評価指標が5年に一度のアンケートでしか出ないものもあり、すべての項目を毎年確認できるわけではない。
委員	アンケート調査は毎年実施するのではないのか。
事務局	毎年実施しない。
委員	進行状況を毎年HPで公開するとしているが、毎年はわからないということか。
事務局	何をもって、取組みが進んでいるのか、あるいはあまり進んでいないかということ判断するのが非常に大きな課題になっている。ほかの協議会では、全庁的に取組んでいる事業実績を集めてきて、全体として分野ごとの進み具合を毎年見るといったやり方を取っているところもある。72ページのアンケート以外の部分については、各種統計データと、ここに載せているような事業ごとの実績等から確認していくということもできる。
会長	どのように確認するのが非常に難しい。25ページの一番下の欄などは、特定検診データで出てくるとは思うが、ほかの部分についてはアンケートのほうがわかりやすい。来年度に向けて検討していきたい。
委員	牛乳にこだわって申しわけないが、やはり学校では牛乳を出していただきたい。朝ごはんを食べてこない子どもの場合、学校では水分が取れないということになる。食文化的に見ておかしいかもしれないが、学校給食に限っては理解していただきたい。学校給食においては、行事食や季節に応じた献立という面で食育ができるだろう。特に小学校に関しては栄養面からも牛乳を外さないでいただきたい。
委員	伝統的な日本食が栄養的にも理想だといわれている。牛乳を残してほしいといわれるのはカルシウムの面から言っているのか。
委員	カルシウムに代わるものは小魚などもあるが、水分補給との両面から言っている。
委員	以前のアンケートでは、ご飯に牛乳は合わないという意見が多かったが、水分補給のために必要であるという意見も出ているので、何かそれに代わるものがないかとは思っている。
委員	給食の牛乳をめぐるっては、取り扱い業者の問題があるとされているが、第一に子どもたちのことを考えてほしい。いまは米が余っているので、全国的にも米飯給食を増やそうという動きになっている。せめて週に3回以上は米飯給食にしてもらいたい。
委員	資料はカラーで作成いただきたい。
事務局	財政状況も厳しく、残念ながらカラーではなく、2色刷の予定である、2色刷で濃淡を付けるので、まったくの白黒よりは見やすいと思う。
委員	それでは、食事バランスガイドはもう少し大きくしてほしい。
委員	このページだけでもカラーにならないか。

委員 事務局	カラーにならなくとも、せめて大きくなれば見やすいのではないかと、もう少し見やすくなるよう検討する。
委員 事務局	30 ページの大きな空白部分にイラスト、写真を載せるなどレイアウトに工夫していただきたい。 空白の部分にはイラストを入れるなど、身近に感じられるような雰囲気仕上げたいと思っている。
委員	とにかく表は大きくしてほしい。
委員 事務局	尼崎市食育関連事業一覧が載っているが、この事業には私立幼稚園は入ることができず、公立幼稚園での食育の取組みも知らされていない。しかし、私立幼稚園としても何らかのかたちで食育に取組みたいという思いはある。 一覧に、行政以外の取組みを載せることは難しいのが現状である。この表は「参考」ということで小さく載せている。 事例紹介については、行政以外のものについても分野ごとに紹介したいと思っている。資料編に挿入するので紹介していただきたい。
委員	私立幼稚園の給食についても取りあげてほしい。
事務局	保育所と幼稚園、学校がひとくくりになっている部分や、別々に取り扱われている部分、乳幼児期という視点から幼稚園、保育所が一緒になっている部分とばらつきがあるのが気になる。 乳幼児期と幼稚園、保育所で取りあげ方が違う部分はあるが、ライフステージから見た乳幼児という理解と、取り組む場面としての幼稚園、保育所というふうに分けて考えていただきたい。
事務局	尼崎市食育推進計画参考資料について説明。
委員 事務局	77 ページに「中心部まで十分加熱し」と書いてあるが、食品衛生学では、85 で1分以上というように具体的な温度、加熱時間が決められている。ここは、あえてこういう表現にしているのか。 基準になるデータがあったほうが望ましいので資料への反映を検討する。
委員 事務局	BMIについて、一般の人は18.5以上、25未満が普通と考えていいのか。そう考えていただいて結構である。
委員 事務局	70 ページのデータが17年となっているが、かなり古いと感じる。 これは国政調査結果のデータで、5年に1回の調査であるため、ちょうど中途半端な時期で平成17年が最新のがータとなる。
委員 事務局	平均寿命について教えてほしい。尼崎市の食文化に関係して平均寿命が短くなっているという根拠はあるか。 8 ページに平均寿命を出しているが、その下に、【生活習慣病に関わりのあ

	<p>る主要死因の死亡率】として、国、県、尼崎市のデータを比較している。脳血管疾患、糖尿病以外のがんや心疾患、肝疾患、腎不全において尼崎は国や県の平均値より高くなっている。生活習慣病には食生活がかなり大きくかかわっているということでこのデータを載せている。</p>
委員	ほかの市町村でも生活習慣病に関わりのある主要死因の死亡率の統計は取っているのか。
事務局	取っている。ただ、ここに載せているのは国が出している市町村ごとの統計である。
委員	平均寿命というのは交通事故等も含めた平均寿命か。
事務局	そうだ。
委員	必ずしも生活習慣病と関係があるとはいえないのではないか。
事務局	そうだ。しかし、死亡順位 10 位のなかにここに挙げている 6 疾患が含まれる。これらが多いということは、かなり大きく影響しているといえる。
委員	生活習慣病だけの統計が取れるのであれば載せてもよいと思うが、全体的な平均寿命だと、食育のとの関連性がわからない。
会長	いらないのではないかとということか。
委員	そうだ。
委員	平均寿命とは関係はないということか。
委員	まったくないとはいえないが、直結はしていない。
事務局	【生活習慣病に関わりのある主要死因の死亡率】の一覧は不要ではないかということか。これは 8 ページ の後半の平均寿命についての裏付け資料として載せているため、もし平均寿命という視点が不要であれば、ここのコメントも検討いただきたい。
委員	この表には各市町村は出てこない。
事務局	尼崎市は県下で一番短命であるということを示すために載せている。平均寿命に 1 歳以上差があるということは、非常に大きいと思っている。
委員	尼崎市の年齢構成はどうなっているのか。
事務局	4 ページに全国と比較した 3 段階の年齢構成を載せている。尼崎市が極端に高齢化しているというわけではない。県のデータは非常に古いものしかなく、掲載を断念した。
委員	66 ページ、図 尼崎の伝統作物・商品の認知状況とあるが、ここでいう図とはグラフのことか。
事務局	「図」はグラフを指しており、表の場合は「表」と表示している。
委員	66 ページの図は、食を取り巻く尼崎の現状をあらわしているのか。
事務局	66 ページに限らず、ここはアンケート調査の結果を掲載している。ただ、70 ページの表はアンケート調査からではなく、統計資料からということで、17 年の国勢調査結果のデータである。
委員	66 ページ、尼崎の伝統作物・商品の認知状況で、回答として、「何度も食べたことがある」とあるが、一体何を食べたのかわからない。伝統作物とは何

事務局	<p>か。何の商品の認知状況なのか。</p> <p>アンケートの「あなたは尼崎の伝統作物や商品を知っていますか。また食べたことはありますか」という設問があり、伝統作物や商品とは、尼いも、一寸豆、田能の里芋、尼の生醤油、てんぷらなどのことと注意書きをしたうえで、アンケートを採っている。図の下にアンケートに載せた注意書き（尼崎の伝統作物・商品とは...）を入れたらわかりやすいと思う。</p>
委員 事務局	<p>66 ページ上段の図はわかるが、下の図はわかりにくい。</p> <p>ほかの部分でも注釈を入れたほうがよいと思われるところがあれば、指摘していただきたい。</p>
委員 事務局	<p>70 ページのデータについて、平成 17 年のデータとなると、少し古いという印象を受ける。5 年ごとにデータが更新されるという注釈を入れたほうがよいと思う。</p> <p>この表の下に国勢調査による表であることを追記する。</p>
会長 委員 会長	<p>70 ページの表と、8 ページの文章の削除について意見をいただきたい。</p> <p>資料は載せておくべきだと思う。</p> <p>70 ページの表の下に注釈を入れて載せるとよい。</p>
委員 委員 事務局 委員 会長	<p>いまも美方郡はあるか。</p> <p>以前は加美町だったところである。</p> <p>17 年当時の町名になっている。</p> <p>ないところは省いていただきたい。</p> <p>字の間違い等、細かい点に対しては事務局と協議し、訂正、修正していく。</p>
事務局	<p>尼崎市食育推進計画策定にかかる今後のスケジュールについて説明。</p>
会長	<p>これをもって尼崎市食育推進会議を終了する。</p> <p>(終了)</p>